

令和 5 年 7 月 13 日

令和 5 年 7 月 13 日、当法人代表が近隣で外食をしていたところ、他客にスポーツウェアの女性数名がいた。

彼女達の会話を盗み聞きをするつもりは無かったのだが、「大蔵寺」「げんこつで威嚇された」という言葉が聞こえてきたので、大蔵寺代表は彼女達に名刺を手渡して名を名乗り、大蔵寺の代表（住職）である事を告げて、当山がご迷惑をおかけしたのであれば、お詫びをしたいので詳しくお話を聞かせていただきたいと言うと、次のような事を話をして下さった。

・彼女達は気の赴くままに長距離を歩くウォーキングを趣味にしている。

先月、この女性方の内二人が大蔵寺麓のバス停ベンチで小休止をしていたら、シニアカーに乗る地元の者らしき老人が、「この辺では見ない顔だが大蔵寺に上るつもりか。」と怒り気味で問いかけてきたので、ウォーキングでここまで来ただけで大蔵寺には上る予定は無いと告げた。

・しかしながら、老人はそれを信じずに「嘘をつくな、大蔵寺に上るつもりだろう。」「自治会長に挨拶をしてから上れ。」「地元の許可無く大蔵寺に立ち入るな。」と憤慨し、「ついて行ってやるから今から自治会長のところに挨拶に行け。」と強要してきた。

彼女達は怖くなり、元から大蔵寺に用事があるのでは無い事を何度も告げたが、「地元で挨拶をしないなら警察を呼ぶ」「知り合いに権力者がいる」など大声で怒鳴りながら拳骨を振り上げて威嚇してきたので、恐ろしくなって立ち去ろうとしたが、しばらくシニアカーで追跡されて非常に怖い思いをした。

本件は大蔵寺側から何かの被害を与えた事では無いにしろ、この様な事があつたことを大蔵寺代表は謝罪し、今後このような事があつて恐怖を覚えた場合はすぐに警察に通報していただきたいと伝え、大蔵寺としても看過できないので、この様な場合は遠慮無く大蔵寺にも通報して下さいとも伝えて会話を終えた。

今回の事のみならず、以前から大蔵寺の檀信徒や用事があつて参る方々に対して、一部の地元有力者が嫌がらせや威嚇を行う事例が多発しております。大抵「地元で挨拶をしろ」「大蔵寺は地域が運営しているのだから、勝手に上がってはならぬ」旨を語り、さらには「村の者を集めて事情聴取をする」などと言う恐怖を覚えるような事を大声で怒鳴り散らされる事件も発生しております。

特に、大蔵寺の檀信徒である方々に対しては、聞くに堪えない酷い暴言を浴

びせ「大蔵寺の檀家を勝手に名乗っているお前らは、先祖から末代まで忌まわしい家系だ。」「大蔵寺の檀家は〇〇（地元名）の人間に出会ったら道を譲って頭を下げろ」など聞くに堪えない言葉で、ご婦人や老人が泣くまで攻め続けるような事案も発生しています。

大蔵寺としても何らかの対策を考えておりますが、当法人が気づかり知らぬ場所での、この様な行為は現場を押さえることが難しく、嫌がらせを行う者が特定できて注意を促しても証拠が無く、言った言わないの水掛け論になり、どうすることも出来ない状況です。

弁護士に相談をしたところ、この様な案件は法的な対処が難しく、現時点での最善の方法は警察に通報することであろうとアドバイスを受けておりますので、大蔵寺近辺で何者かによって恐怖を覚えるような言動が行われた場合は、警察に通報して下さい。

そして、もし録音や録画などが出来る状況であれば、その記録を持って警察に通報して下さいが望ましいです。

当法人と致しましても様々な意見を参考にして早急に対策を行って参ります。

現時点では、檀信徒の方や大蔵寺に御用がある方には事前連絡をして下さるよう御願いしており、大蔵寺従事者が麓のバス停まで車でお迎えに上がるという対策を行っております。